



有松日本遺産進捗状況

○ 第1回有松日本遺産実行委員会の開催(9月26日)

日本遺産の認定を受け、日本遺産準備委員会の任務終了と解散が承認され、引き続き12団体からなる「有松日本遺産実行委員会」の発足が承認されました。

有松まちづくりの会役員会(9月23日)

○ 日本遺産事業担当者を明確化

- ・有松日本遺産ワークショップ：藤枝、久野
- ・有松の歴史調査研究活動：小沢、山田、根尾
- ・次年度の事業計画検討：中島、加藤(一)、本田

○ 道しるべ石柱(東海道・大府行懸道)の移設計画を承認

山車会館にある道しるべ石柱が、以前あった有松郵便局へ移設する計画案が承認されました。今後、有松町並み相談会にかけられ、名古屋市の許可をもって実行されます。なお、当件は名古屋市の観光魅力向上事業として提案されますので、実施は来年度を予定しています。

「町並み研修」を実施(9月2日)

～郡上八幡の歴史と文化をたずねて～と題して、恒例の研修旅行が水と踊りの町、郡上八幡で実施されました。

昨年4月開館の「郡上市歴史資料館」で細川館長さんから資料館と郡上市の説明を受けました。資料館は歴史資料の保存と研究目的で建てられ、飛騨の材木を使い二重壁で覆われ、防火は水のスプリンクラーでなく窒素ガスで行っている。町の特徴は水・踊り・工芸です。町角などには多くの「ポケットパーク」が設けられているとのことです。

引き続き、郡上八幡まちなみ観光案内人(ガイド)による町並みの見学を行いました。水の宗祇水・用水のいがわこみち・飛び込みの新橋・用水利用のセギ板と防火バケツ・重伝建地区のエアコン室外機カバー・ポケットパークなどを見て回りました。

午後は、個々にゆっくり散策する自由時間でした。手ぬぐいのシルクスクリーン印刷体験や食品サンプル工房・郡上木履などいろいろな所を見学しました。

今回は、事業部と総務部が計画した新しい研修会でした。参加者は31名で、ゆったりとした研修旅行でした。



ポケットパーク



町並み見学風景

まちづくり講演会(9月7日)

名古屋都市センターで日本建築学会東海支部都市計画委員会まちづくり講演会が開催され、有松あないびとの会から4名が出席しました。今後の有松のまちづくりを考える上で有意義な話を伺うことができました。

まず、東京大学名誉教授の西村幸夫さんから基調講演がありました。まちづくりはハード面での整備ではなく、地域が持っている特性や歴史を活かしたまちづくりが大切であるとの事でした。更に、まちづくりでは関係者が同じ方向にベクトルが動いているかどうか大切であるとも指摘されていました。

続いて、4団体から事例報告がありました。有松まちづくりの会の山田修生さんからは「有松で進める歴史を活かしたまちづくり」と題してお話がありました。

最後に、パネルディスカッションがあり、活発な意見交換がされました。



敬老記念品の配付(9月16日)

有松学区では毎年、敬老の日には長寿を称え、75歳以上の方全員にお祝いの品としてブドウを配付しています。お年寄りの皆様にも大好評でした。

今年もブドウの準備をしていましたが、天候不順による注文先のブドウの不作で確保ができなくなりました。代わりに「フルーツゼリーセット」を、同一世帯で二人目の方には「和菓子」が対象の方1263名に配られました。当日は町内会の役員69名が一人一人のお宅を訪れて、「おめでとう」のメッセージと共に記念品が手渡されました。「お元気でお過ごしください」の声が聞こえてきました。



一方、名古屋市からは米寿になられた方44名、愛知県からは数え100歳になられた2名の方にお祝い金が贈られました。更に満100歳の方には、内閣総理大臣から賞状と銀杯が届き、それぞれ民生委員が個別に訪問して長寿をお祝いしました。有松に住んでよかった。そんな健康長寿の町、有松にしていきたいものです。

シリーズ地域活動3 配食サービス

有松学区では、学区福祉推進協議会により月2回(第2第4水曜日)学区内の独居老人、老老夫婦のお宅の内で希望される方にお弁当をお配りしています。美味しく少しでも安く食べていただくのが目的の一つですが、定期的に訪問配食することにより、日頃外出の機会が少ない方には地域情報の提供を、お話好きの方にはお話しする機会を提供させていただいています。現在登録者(配食希望の方)は87名、配食ボランティアは27名です。



ボランティアの佐藤貴さんにお話を伺いました。

「9月11日の配食日は83名の方にボランティア14名でお配りしました。私もスタッフの一人として6名の方にお弁当をお届けしました。今回は1時間くらいでスムーズに配食を終了しましたが、配食日を忘れて外出されたり、インターホンを何度ならしても出られないので裏に回ると縁側で新聞を読んでみえたり・・・心配したりホッとしたりです。今後もいろいろあると思いますが、他の配食ボランティアの皆さんと楽しく活動を続けて行きたいと思います。」

「猿猴庵(えんこうあん)と行く東海道の旅」 名古屋市博物館で講演会(9月7日)

9月7日午後、名古屋市博物館において山本祐子氏(元名古屋市博物館学芸員、有松在住)による講演会がありました。当日は暑い日でしたが、会場となった講堂は200名以上の参加者ですぐにいっぱいになりました。

山本祐子氏の解説をお聞きしながら、猿猴庵の東街便覧図略(とうがいびんらんずりやく)に描かれた海、山、川などの自然の風景や建物、旅人の様子など、自分が熱田から順に江戸に向かって旅をしている気分で楽しみました。

鳴海潟の絵に続いて描かれた「有松の店」の絵には丸の中に竹の字がある大きな暖簾がかかっている絞りの大店が描かれています。そこに有松絞りの美しさを褒めた文章がありました。続けて「江戸までの間で、このような見事な店はない。東海道随一の壮観」と書いてありました。

講演に引き込まれあっという間の1時間でした。江戸時代の旅を惜しむ参加者の熱気を感じながら会場を後にしました



- 猿猴庵とは高力種信(こうりきたねのぶ 1756~1831)が用いたペンネームです。

名古屋城下の出来事取材し独特の記録絵本などを多数作品を残す。

名古屋市博物館で「猿猴庵の本」シリーズを刊行。

「東街便覧図略」は、歌川広重の「東海道53次(1837年)」より40年ほど前に完成しています。(1795年)

有松工芸で絞り染め体験(9月7日)

有松小学校トワイライトルームでは、毎月「有松を知ろう」の講座が行われています。9月は「親子ふれあいサタデー」として、ご家族と共に、有松工芸の濱島さんのご指導で手拭いの絞り染めをしました。まず、色々な絞り柄を見て、その柄の作り方を学びました。三角形の板や輪ゴム・割り箸などで自分の好みの柄が出るよう真剣に挑戦。赤・青・緑の染料にも自分で浸けました。解く時のワクワク顔は大人も子どもも同じ。楽しい講座でした。



懐かしの写真

大正7年(1918)に撮影された竹田家住宅です。屋根に置かれているガス灯は今のものとは違うようです。西側には家並みが続いています。現在の竹田家住宅西側の道路(庄九郎道)はいつ頃造られたのでしょうか。大変興味をそそられる写真です。

(「古写真で見る街道と宿場町」世界文化社より)



ガイドの現場から1

「初めて中国人のお客様をご案内して」

有松あないびとの会 小池裕之

現在、有松あないびとの会の中に中国語が堪能な人は不在のため、英語で対応ということになった。団体の行程も詳細は分からないので不安があったが、それでも少しは中国語を身につけようと、私は中華料理屋に通い発音を教えてもらう。「ニイメンハオ」まではいいが自分の名前になるとどう発音しても違うと言われ、文字をカードに書くことにした。

9月5日ご案内当日、応援のメンバーと歓迎のカードを持って待っていると、バスが1台自分たちの前を通り過ぎた。ひょっとしたら・・・と思うと、予定外のところに着いていた。慌てて竹田邸に向かう。絞りの実習をすぐ始めるが自分たちはあまり役に立てない。絞会館に向かう途中、やっと出番が来たと思い東海道について英語で説明するが通じない。一部の人が理解して、他の人に中国語に翻訳する形になっていたようだ。

会館で名古屋市側とセレモニーをして、記念写真を撮り彼らは嵐のように去っていった。私たちは一体何の役に立ったのか。虚しさは残ったがこういう事はよくあることで、課題も少しずつ見えてきた。今後に備え、中国語のテレビ番組を見るようにしている。



9月号の訂正のお願い

令和元年度の組織図において、欄外の関連諸団体派遣役員の有松町並み相談会に阿知葉征彦に続いて山田修生を追記してください。

催事・行事の予定

10月01日（火）～11月10日（日）名鉄・秋の有松キャンペーン（観光案内所全日オープン）

有松おさんぽきっぷ・有松絞り体験きっぷ発売

10月06日（日） 09:30 有松山車まつり 有松東海道一帯 有松天満社文嶺講

10月13日（日） 08:30 グランドゴルフ大会 有松中学校 区制協力委員会

10月21日（月） 18:00 有松町並み相談会 コミセン

10月26日（土） 10:00 緑区区民まつり 大高緑地 緑区役所 当会是有松をPR

10月27日（日） 07:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会

〃 09:00 戦没者慰霊祭 コミセン

10月28日（月） 18:00 有松まちづくりの会 役員会 コミセン

発行者:竹田嘉兵衛(有松まちづくりの会 会長)

編集者:加藤 一成(有松まちづくりの会 広報部員)

T・F 052-623-1676 090-4163-2671

E-mail katoisse@mc.ccnw.ne.jp

有松まちづくりの会は、ホームページを公開してます。

有松のまち

検索